

## 令和元年度 文教委員会資料④

【所管事務の調査（報告）】

平成30年度 公益財団法人川崎市文化財団

「経営改善及び連携・活用に関する取組評価」について

資料 1 経営改善及び連携・活用に関する取組評価（公益財団法人川崎市文化財団）

参考資料 1 公益財団法人川崎市文化財団「経営改善及び連携・活用に関する方針」

市 民 文 化 局

（令和元年8月22日）

# 経営改善及び連携・活用に関する取組評価

(平成30(2018)年度)

|          |                |     |               |
|----------|----------------|-----|---------------|
| 法人名(団体名) | 公益財団法人 川崎市文化財団 | 所管課 | 市民文化局 市民文化振興室 |
|----------|----------------|-----|---------------|

## 1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

### 本市施策における法人の役割

誰もが気軽に文化芸術に触れ、多くの市民が文化芸術の楽しさを感じることができるよう、文化芸術活動を振興し、市民が文化芸術活動に参加しやすい環境づくりを進める必要があります。2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、多様な文化芸術事業を展開することで、文化芸術の魅力を発信し、新しい都市イメージの向上に貢献することも求められています。また、平成29年に改正された文化芸術基本法では、文化芸術団体が文化芸術活動に主体的に取り組み、その充実等に積極的な役割を果たすべき旨が規定され、さらに平成30年には障害者による文化芸術活動の推進に関する法律が制定されるなど、文化芸術活動において財団に期待される役割はより大きくなっています。

そのために、市民の文化芸術活動の振興等を目的として設立された川崎市文化財団は、文化の専門的な組織としての役割を果たし、多様な文化芸術事業の実施、文化芸術施設の効果的な運営、文化芸術活動を担う地域人材の育成等を行うことで、文化施策の一翼を担うこと、芸術を活かしたまちづくりに貢献することが期待されます。

|              |               |                |              |
|--------------|---------------|----------------|--------------|
| 法人の取組と関連する計画 | 市総合計画と連携する計画等 | 基本政策           | 施策           |
|              |               | スポーツ・文化芸術を振興する | 市民の文化芸術活動の振興 |
|              | 分野別計画         | 川崎市文化芸術振興計画    |              |

### 4カ年計画の目標

○ 地域の文化資源を活用した多様な文化芸術事業の実施、運営施設の利用促進、文化芸術に係る中間支援の取組を推進し、文化芸術の一層の振興を推進します。

○ 川崎市の文化芸術振興に寄与する専門組織として、専門人材の確保・育成を行い、財団の機能強化を推進します。

○ 文化芸術施設の施設経営に関するノウハウを活かし、文化芸術施設の指定管理の継続受託を見据えながら、施設の管理運営を担っていくことで、経営基盤の安定化を図っていきます。

○ 自己収入割合を向上させるとともに、効率的な施設運営等による支出の削減をすすめ、財団経営の健全化を進めます。

## 2. 本市施策推進に向けた事業取組

| 取組No. | 事業名         | 指標                    | 単位 | 現状値<br>(平成29<br>(2017)年度) | 目標値<br>(平成30<br>(2018)年度) | 実績値<br>(平成30<br>(2018)年度) | 達成度<br>(※1) | 本市による評価<br>・達成状況<br>(※2)<br>・費用対効果<br>(※3) | 今後の取組の<br>方向性<br>(※4) |
|-------|-------------|-----------------------|----|---------------------------|---------------------------|---------------------------|-------------|--|-----------------------|
| ①     | 財団本部事業      | 財団所管施設の稼働率            | %  | 61.5                      | 62.5                      | 61.2                      | c           | D  | II                    |
|       |             | 財団所管施設における財団主催事業の参加者数 | 人  | 5,469                     | 5,800                     | 5,444                     | c           |  |                       |
|       |             | 事業別の行政サービスコスト         | 千円 | 151,918                   | 144,000                   | 122,854                   | 1)          | (3)  |                       |
| ②     | 指定管理事業      | 指定管理施設の稼働率            | %  | 61.3                      | 62.5                      | 64.1                      | a           | B  | I                     |
|       |             | 指定管理施設における主催事業の参加者数   | 人  | 161,766                   | 172,000                   | 162,369                   | b           |  |                       |
|       |             | 事業別の行政サービスコスト         | 千円 | 924,855                   | 924,855                   | 928,658                   | 2)          | (2)  |                       |
| ③     | 文化芸術に係る中間支援 | 文化芸術に係る相談件数           | 件  | -                         | 20                        | 20                        | a           | A  | I                     |
|       |             | パラアート事業の支援団体数         | 団体 | 8                         | 9                         | 10                        | a           |  |                       |
|       |             | 事業別の行政サービスコスト         | 千円 | 7,314                     | 7,314                     | 7,314                     | 2)          | (1)  |                       |

### 3. 経営健全化に向けた取組

| 取組No. | 項目名      | 指標           | 単位 | 現状値<br>(平成29<br>(2017)年度) | 目標値<br>(平成30<br>(2018)年度) | 実績値<br>(平成30<br>(2018)年度) | 達成度 | 本市による<br>評価<br>・達成状況 | 今後の取組の<br>方向性 |
|-------|----------|--------------|----|---------------------------|---------------------------|---------------------------|-----|----------------------|---------------|
| ①     | 自主財源の確保  | 自己収入額        | 千円 | 1,656,440                 | 1,660,440                 | 1,641,174                 | c   | C                    | II            |
| ②     | 自律的な事業運営 | 事業費に対する自主財源率 | %  | 83.0                      | 84.8                      | 83.7                      | b   | C                    | II            |
| ③     | 収益事業の推進  | 収益事業の経常収益    | 千円 | 310,661                   | 321,000                   | 294,202                   | c   | C                    | II            |

### 4. 業務・組織に関する取組

| 取組No. | 項目名                 | 指標                  | 単位 | 現状値<br>(平成29<br>(2017)年度) | 目標値<br>(平成30<br>(2018)年度) | 実績値<br>(平成30<br>(2018)年度) | 達成度 | 本市による<br>評価<br>・達成状況 | 今後の取組の<br>方向性 |
|-------|---------------------|---------------------|----|---------------------------|---------------------------|---------------------------|-----|----------------------|---------------|
| ①     | 職員の専門性の向上           | 研修への参加回数            | 回  | 15                        | 17                        | 20                        | a   | A                    | I             |
| ②     | コンプライアンス(法令等の遵守)の徹底 | コンプライアンスに反する事案の発生件数 | 件  | 0                         | 0                         | 0                         | a   | A                    | I             |

(※1)【a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1. 実績値が目標値の100%未満、2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4. 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】

## 本市による総括

### 各取組の評価結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など

#### 【各取組の評価について】

・本市施策推進に向けた事業取組については、目標未達成の取組が多く、施設の稼働率や主催事業の集客において、課題があります。一方で、文化芸術に係る中間支援の取組においては、目標を達成し、文化芸術に係る中間支援を通じた文化芸術の振興に寄与することができました。

・経営健全化に向けた取組については、目標未達成の取組が多く、自己収入の確保等に課題があります。

・業務・組織に関する取組については、目標を達成し、職員の専門性の向上、コンプライアンスの徹底を図ることができました。

#### 【今後の取組について】

今後、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される2020年、市制100周年を迎える2024年を見据え、持続的な文化芸術を振興していくためには、文化芸術の専門組織である財団の役割はますます大きくなるものと思われます。経営基盤の強化に向けては、施設利用料の増収、国等の助成金の活用など、自己収入の確保に向けた取組をより推進することが求められます。また、文化芸術の振興に向けては、多様な文化芸術事業の実施、文化芸術施設の効果的な運営を行うとともに、市民の主体的な文化芸術活動を促進するために、文化芸術に係る中間支援、文化芸術活動を担う地域人材の育成をより推進することが求められます。

|          |                |     |               |
|----------|----------------|-----|---------------|
| 法人名(団体名) | 公益財団法人 川崎市文化財団 | 所管課 | 市民文化局 市民文化振興室 |
|----------|----------------|-----|---------------|

## 2. 本市施策推進に向けた事業取組①(平成30(2018)年度)


|                   |   |
|-------------------|---|
| 事業名               | 財団本部事業  |
| <b>計 画 (Plan)</b> |   |
| 指標                | ①財団所管施設の稼働率、②施設における財団主催事業の参加者数  |
| 現状                | 財団は、川崎市能楽堂等の文化芸術施設を運営し、文化芸術振興に係る多様な主催事業を実施しています。公益事業として収支の均衡をとることが難しい状況にもありますが、これらの事業は市民が文化芸術に触れるきっかけとなるものであり、その機会をさらに増やしていく必要があります。        |
| 行動計画              | 様々な媒体を活用した各施設の広報を展開するとともに、魅力的な企画の実施、施設相互の連携や施設の利便性の向上を図り、段階的な施設稼働率の向上を図ります。併せて、地域の文化資源を活用した多様な文化芸術事業を実施し、事業に関する市民ニーズや効果を検証しながら参加者数の増加を図ります。 |
| 具体的な取組内容          | 事業に関する市民ニーズや事業の効果を検証しながら、様々な媒体を活用した積極的な事業の広報を行い、多様な文化芸術事業を実施します。  |

## 実施結果 (Do)

|                |  |
|----------------|--|
| 本市施策推進に向けた活動実績 | <p><b>【指標1関連】</b><br/>         能楽堂、アートガーデンかわさき、ラゾーナ川崎プラザソル、新百合トウェンティワンホールの各施設について、市民の文化芸術活動の場として、適切な管理運営を行いました。施設の有効活用に向けて、利用ニーズに応じた利用調整、様々な媒体を活用した各施設の広報等の取組を展開しました。アートガーデンかわさきについては利用団体の高齢化等から稼働率が低下しましたが、新百合トウェンティワンホールやラゾーナ川崎プラザソルは、近隣の企業等に向けての広報を強化したことにより稼働率が向上しました。ラゾーナ川崎プラザソルの稼働率が過去5年で最高となりました。</p> <p>&lt;各施設の稼働率&gt;<br/>         川崎能楽堂: 26.4% → 25.9%【減】、ラゾーナ川崎プラザソル: 81.8% → 94.1%【増】<br/>         新百合トウェンティワンホール: 46.8% → 49.5%【増】、アートガーデンかわさき: 97.3% → 75.3%【減】</p> |
|                | <p><b>【指標2関連】</b><br/>         各施設における主催事業について、魅力的な企画の実施、効果的な広報等の取組を展開しました。プラザソルとアートセンターにおいて「寄席(よせ)」を実施するなど施設間での連携強化を意図した事業も展開しました。全体の参加者数は前年度より減少しましたが、定期能やアンデパンダン展など来場者が増加した事業もありました。</p> <p>&lt;各施設の主催事業参加者数&gt;<br/>         川崎能楽堂: 1,834人 → 1,957人【増】、ラゾーナ川崎プラザソル: 1,579人 → 1,383人【減】<br/>         新百合トウェンティワンホール: 294人 → 160人【減】、アートガーデンかわさき: 1,762人 → 1,944人【増】</p>   |
|                | <p><b>【その他】</b><br/>         文化関係団体との共催により、多様な文化芸術事業を実施しました。共催事業である川崎・しんゆり芸術祭は参加者が増加するなど(28,000人→29,300人)、市における文化芸術振興に寄与することができました。</p>  |
|                |  |


## 評価 (Check)

| 本市施策推進に関する指標   |   | 目標・実績 | H29年度<br>(現状値)   | H30年度 | R1年度  | R2年度  | R3年度  | 単位 |
|--|---|-------|--|-------|-------|-------|-------|----|
| 1  | 財団所管施設の稼働率  | 目標値   | 61.5   | 62.5  | 63.5  | 64.5  | 65.5  | %  |
|  | 説明<br>川崎市能楽堂、ラゾーナ川崎プラザソル、新百合トウェンティワンホール(多目的ホール等)、アートガーデンかわさきの区分利用率の平均値。 | 実績値   |  | 61.2  |       |       |       |    |
| 2  | 財団所管施設における財団主催事業の参加者数   | 目標値   | 5,469  | 5,800 | 6,100 | 6,400 | 6,700 | 人  |
|  | 説明<br>川崎市能楽堂、ラゾーナ川崎プラザソル、新百合トウェンティワンホール、アートガーデンかわさきにおける主催事業の参加者数        | 実績値   |  | 5,444 |       |       |       |    |
| 指標1<br>に対する達成度   |   | C     | a. 実績値が目標値以上<br>b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満<br>c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満<br>d. 実績値が目標値の60%未満 |       |       |       |       |    |
| 指標2<br>に対する達成度   |   | C     | ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載  |       |       |       |       |    |
| <b>法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)</b><br>・指標1については現状値を下回りましたが、新百合トウェンティワンホール、ラゾーナ川崎プラザソルは前年度の稼働率を上回り、特にプラザソルは過去5年で最高の94.1%と目標値を大きく上回る高水準であり、市民の自発的かつ創造的な文化芸術活動の場を提供することができました。<br>・指標2については現状値を下回りましたが、定期展(632人→792人)やアンデパンダン展(1,238人→1,388人)等の事業については前年度の参加者を上回るなど、一定の成果がありました。また、文化関係団体との共催事業等(川崎・しんゆり芸術祭など)も含めて、地域の文化資源を活用して多様な文化芸術振興事業を行うことで、市民が文化芸術に触れる場を多く創出することができました。 |   |       |  |       |       |       |       |    |

|  |             |   |          |   |
|--|-------------|---|----------|---|
|  | <b>達成状況</b> | <b>区分</b><br>A. 目標を達成した<br>B. ほぼ目標を達成した<br>C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった<br>D. 現状を下回るものが多くあった<br>E. 現状を大幅に下回った | <b>D</b> | <b>区分選択の理由</b><br>魅力的な企画の実施、効果的な広報等の取組を進めたものの、「財団所管施設の稼働率」は61.2%と、「財団所管施設における財団主催事業の参加者」は5,444人となり、前年度とほぼ同じ水準ではありながら、いずれも現状を下回ったため。 |
|  |             |   |          |   |

| 行政サービスコスト        |                    | 目標・実績 | H29年度  | H30年度   | R1年度    | R2年度    | R3年度    | 単位 |
|------------------|--------------------|-------|--|---------|---------|---------|---------|----|
| 1                | 事業別の行政サービスコスト      | 目標値   | 151,918  | 144,000 | 143,000 | 142,000 | 141,000 | 千円 |
|                  | 説明<br>直接事業費ー直接自己収入 | 実績値   |  | 122,854 |         |         |         |    |
| 行政サービスコストに対する達成度 |                    | 1)    | 1). 実績値が目標値の100%未満<br>2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満<br>3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満<br>4). 実績値が目標値の120%以上 |         |         |         |         |    |

|   |  |  |  |  |  |  |  |  |
|---|--|--|--|--|--|--|--|--|
| <b>法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)</b><br>新百合トウェンティワンホールやプラザソルの施設使用料収入等の増加により、財団本部事業の行政サービスコストについては減少しました。 |  |  |  |  |  |  |  |  |
|---|--|--|--|--|--|--|--|--|

|   |  |   |            |  |
|---|--|---|------------|--|
|  | <b>費用対効果</b><br>(「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度等を踏まえ評価) | <b>区分</b><br>(1). 十分である<br>(2). 概ね十分である<br>(3). やや不十分である<br>(4). 不十分である | <b>(3)</b> | <b>区分選択の理由</b><br>新百合トウェンティワンホールやプラザソルの施設使用料収入等の増加により、財団本部事業の行政サービスコストの目標値を達成しました。施設の管理運営及び主催事業の実施により、文化芸術の振興に一定の寄与することができましたが、本施策推進に関する指標はいずれも現状値を下回ったため。 |
|   |  |   |            |  |

## 改善 (Action)

| 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性 | 方向性区分 |    | 方向性の具体的内容 |
|----------------------------------|-------|----|-----------|
|                                  |       | I. | II.       |

|          |                |     |               |
|----------|----------------|-----|---------------|
| 法人名(団体名) | 公益財団法人 川崎市文化財団 | 所管課 | 市民文化局 市民文化振興室 |
|----------|----------------|-----|---------------|

## 本市施策推進に向けた事業取組②(平成30(2018)年度)

|                   |  |
|-------------------|--|
| <b>事業名</b>        | 指定管理事業   |
| <b>計 画 (Plan)</b> |  |
| <b>指標</b>         | ①指定管理施設の稼働率、②指定管理施設における主催事業の参加者数   |
| <b>現状</b>         | 市民の自発的かつ創造的な文化芸術活動の場として、指定管理施設(ミューザ川崎シンフォニーホール等)の運営を行っています。稼働率等は概ね安定していますが、市民の文化芸術活動の振興のため、さらなる稼働率の向上、主催事業参加者の増加を図る必要があります。                    |
| <b>行動計画</b>       | 指定管理の継続受託を見据えながら、様々な媒体を活用した各施設の広報を展開するとともに、魅力的な企画の実施、施設相互の連携や施設の利便性の向上を図り、段階的な施設稼働率の向上を図ります。併せて、多様な主催事業を実施し、事業に関する市民ニーズや効果を検証しながら参加者数の増加を図ります。 |
| <b>具体的な取組内容</b>   | 施設稼働率の向上を増加を図るために、様々な媒体を活用した各施設の広報を展開するとともに、魅力的な企画の実施、施設相互の連携や施設の利便性の向上を図ります。  |

## 実施結果 (Do)

|                       |   |
|-----------------------|---|
| <b>本市施策推進に向けた活動実績</b> | <p><b>【指標1関連】</b><br/>         ミューザ川崎シンフォニーホール、アートセンター、東海道かわさき宿交流館の各施設は、市民の文化芸術活動の場として、指定管理者として適切な管理運営を行いました。また、施設の有効活用に向けて、利用ニーズに応じた利用調整、様々な媒体を活用した各施設の広報等の取組を展開しました。東海道かわさき宿交流館は稼働率が向上しました。<br/>         &lt;各施設の稼働率&gt;<br/>         ミューザ川崎シンフォニーホール: 85.2% → 80.2%【減】、アートセンター: 60.0% → 62.0%【増】<br/>         東海道かわさき宿交流館: 43.7% → 50.0%【増】</p> <p><b>【指標2関連】</b><br/>         各施設における主催事業は、市民が文化芸術に触れるきっかけとなるもので、魅力的な企画の実施、効果的な広報等の取組を展開した結果、参加者は前年度より増加しました。ミューザ川崎シンフォニーホールについては、平成31年1月15日から舞台設備改修のため休館しましたが、代替公演を行う等の取組により参加者が増加しました。<br/>         &lt;各施設の主催事業参加者数&gt;<br/>         ミューザ川崎シンフォニーホール: 72,945人 → 74,018人【増】、アートセンター: 88,821人 → 88,351人【減】</p> |
|-----------------------|---|

| 評価 (Check)   |   |  |  |   |   |         |         |    |
|--|---|--|--|---|---|---------|---------|----|
| 本市施策推進に関する指標   |   | 目標・実績  | H29年度<br>(現状値)   | H30年度                                     | R1年度  | R2年度    | R3年度    | 単位 |
| 1  | 指定管理施設の稼働率  | 目標値  | 61.3   | 62.5                                      | 63.5  | 64.5    | 65.5    | %  |
|  | 説明<br>ミュージアム川崎シンフォニーホール(音楽ホール等)、川崎市アートセンター(小劇場、映像館)、東海道かわさき宿交流館(集会室等)の区分利用率の平均値 | 実績値  |  | 64.1                                      |   |         |         |    |
| 2  | 指定管理施設における主催事業の参加者数   | 目標値  | 161,766  | 172,000                                   | 175,000   | 178,000 | 181,000 | 人  |
|  | 説明<br>ミュージアム川崎シンフォニーホール、川崎市アートセンターにおける主催事業の参加者数                                 | 実績値  |  | 162,369                                   |   |         |         |    |
| 指標1に対する達成度   |   | a  | a. 実績値が目標値以上<br>b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満<br>c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満<br>d. 実績値が目標値の60%未満 |   |   |         |         |    |
| 指標2に対する達成度   |   | b  | ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載  |   |   |         |         |    |
| 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)  |   |  |  |   |   |         |         |    |
| <p>・指標1については稼働率64.1%と目標値及び前年度を上回り、利用者の調整や施設の広報などに取り組み、市民の自発的かつ創造的な文化芸術活動の場を提供することができました。</p> <p>・指標2については、アートセンターについては前年度より参加者は減少しましたが、ミュージアム川崎シンフォニーホールの休館はありましたが前年度を上回り、一定の成果があり、市民の文化芸術活動の場を多く創出することができました。</p> |   |  |  |   |   |         |         |    |
|  | <b>達成状況</b>   | 区分   |  | 区分選択の理由                                   |   |         |         |    |
|  |   | A. 目標を達成した<br>B. ほぼ目標を達成した<br>C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった<br>D. 現状を下回るものが多くあった<br>E. 現状を大幅に下回った |  | B   | 成果指標である「指定管理施設の稼働率」は64.1%となり、目標値の62.5%を達成することができました。「指定管理施設における主催事業の参加者数」は、162,369人となり、ミュージアム川崎シンフォニーホールからの舞台設備改修による休館期間があったにも関わらず前年度とほぼ同様の水準を保つことができ、これらの取組により、文化芸術の振興に一定の寄与をすることができたため。 |         |         |    |
| 行政サービスコスト  |   |  |  |   |   |         |         |    |
| 1  | 事業別の行政サービスコスト   | 目標値  | 924,855  | 924,855                                   | 924,855   | 924,855 | 924,855 | 千円 |
|  | 説明<br>指定管理受託料   | 実績値  |  | 928,658                                   |   |         |         |    |
| 行政サービスコストに対する達成度   |   | 2)   | 1). 実績値が目標値の100%未満<br>2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満<br>3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満<br>4). 実績値が120%以上 |   |   |         |         |    |
| 法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)   |   |  |  |   |   |         |         |    |
| 指定管理施設の運営に関しては、東海道かわさき宿交流館の第2期指定管理に伴う指定管理料の増額等により、目標値を達成することができず、前年度を上回る指定管理料で運営いたしました。  |   |  |  |   |   |         |         |    |
|  | <b>費用対効果</b><br>(「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度等を踏まえ評価)                              | 区分   |  | 区分選択の理由                                   |   |         |         |    |
|  |   | (1). 十分である<br>(2). 概ね十分である<br>(3). やや不十分である<br>(4). 不十分である                                   |  | (2)                                       | 行政サービスコストは目標値の範囲内ではないものの、市民が文化芸術に触れる場、文化芸術活動の場を多く創出し、文化芸術の振興にも寄与することができたため。   |         |         |    |
| 改善 (Action)  |   |  |  |   |   |         |         |    |
| <b>実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性</b>  | 方向性区分   |  | 方向性の具体的内容  |   |   |         |         |    |
|  | I. 現状のまま取組を継続<br>II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続<br>III. 状況の変化により取組を中止               |  | I  | より魅力的な事業の企画の立案、効果的な広報などの取組を推進し、本取組を継続します。 |   |         |         |    |

|          |                |     |               |
|----------|----------------|-----|---------------|
| 法人名(団体名) | 公益財団法人 川崎市文化財団 | 所管課 | 市民文化局 市民文化振興室 |
|----------|----------------|-----|---------------|

| 本市施策推進に向けた事業取組③(平成30(2018)年度) |   |
|-------------------------------|---|
| 事業名                           | 文化芸術に係る中間支援   |
| 計 画 (Plan)                    |   |
| 指標                            | ①文化芸術に関する相談件数、②パラアート事業の支援団体数  |
| 現状                            | 財団が市とともに文化施策の一翼を担っていくためには、相談支援、地域のネットワークの構築、ボランティア等の人材育成など、文化芸術に係る中間支援を行っていくことが求められています。<br>平成29年度より「パラアート推進モデル事業」を市から受託し、障害の有無に関わらず文化芸術に親しめるパラアートの中間支援の取組を始めましたが、その他の中間支援の取組を進める必要があります。 |
| 行動計画                          | パラアートを含む文化芸術一般に関する相談に対応できるよう、職員のスキルアップを図るとともに、相談窓口の広報周知の取組を行います。<br>市からの補助金の活用によりパラアートの環境づくりを進めるとともに、平成31年度にパラアートの中間支援機能(プラットフォーム)を構築し、自律的な事業を展開します。                                      |
| 具体的な取組内容                      | 多様な文化芸術関係団体と協働することで、その活動を支援し、ネットワークを構築していきます。市からの受託事業の「パラアート推進モデル事業」の実施によりパラアートの環境づくりを進めるとともに、平成31年度にパラアートの中間支援機能(プラットフォーム)を構築に向けた準備・検討を行います。   |

| 実施結果 (Do)      |  |
|----------------|--|
| 本市施策推進に向けた活動実績 | <p><b>【指標1関連】</b><br/>文化芸術に関する専門組織として、相談支援、地域のネットワークの構築などの中間支援の取組を推進しました。文化芸術活動に関する助成や活動場所に関する相談など、市民や団体等から寄せられた相談について、必要な情報を的確に伝えるなど、きめ細かく対応することができました。</p> <p><b>【指標2関連】</b><br/>障害の有無に関わらず文化芸術に親しめる環境づくりを目指し、市からの受託事業の「パラアート推進モデル事業」を実施し、パラアートの作品展示会、一般公募によるパラアートのプログラム等の取組を展開しました。平成30年度は手話コンサート等の実演芸術プログラムを実施しました。事業の実施に当たっては、市内の障害者福祉施設や特別支援学校等と連携し、本事業の実施が各団体の活動拡充の契機となるよう支援を行いました。</p> |



## 評価 (Check)

| 本市施策推進に関する指標 |  | 目標・実績 | H29年度<br>(現状値)   | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 単位 |
|--------------|--|-------|--|-------|------|------|------|----|
| 1            | 文化芸術に係る相談件数                              | 目標値   | /  | 20    | 30   | 40   | 50   | 件  |
|              | 説明 財団において対応した、文化芸術に関する相談件数               | 実績値   |  | -     | 20   |      |      |    |
| 2            | パラアート事業の支援団体数                            | 目標値   | /  | 9     | 10   | 12   | 14   | 団体 |
|              | 説明 事業委託や連携協力等によりパラアートの事業に参画し、活動支援を行った団体数 | 実績値   |  | 8     | 10   |      |      |    |
| 指標1に対する達成度   |  | a     | a. 実績値が目標値以上<br>b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満<br>c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満<br>d. 実績値が目標値の60%未満 |       |      |      |      |    |
| 指標2に対する達成度   |  | a     | ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載  |       |      |      |      |    |

### 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

財団が市と共に文化芸術施策を推進するために、パラアート推進事業を中心とした中間支援の取組を強化しました。指標1、2ともに目標値を上回り、文化芸術に係る中間支援の取組は一定の成果がありました。

| 本市による評価 | 達成状況 | 区分 | 区分選択の理由  |
|---------|------|----|--|
|         |      | A  | 成果指標である「文化芸術に係る相談件数」は20件となり、目標値の20件を達成することができ、また「パラアート事業の支援団体数」は10団体となり、目標値の9件を上回るすることができ、文化芸術に係る中間支援を通じた文化芸術の振興に寄与することができたため。 |

| 行政サービスコスト        |                 | 目標・実績 | H29年度  | H30年度 | R1年度  | R2年度  | R3年度  | 単位 |
|------------------|-----------------|-------|--|-------|-------|-------|-------|----|
| 1                | 事業別の行政サービスコスト   | 目標値   | /  | 7,314 | 7,314 | 7,000 | 6,000 | 千円 |
|                  | 説明 直接事業費ー直接自己収入 | 実績値   |  | 7,314 | 7,314 |       |       |    |
| 行政サービスコストに対する達成度 |                 | 2)    | 1). 実績値が目標値の100%未満<br>2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満<br>3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満<br>4). 実績値が120%以上 |       |       |       |       |    |

### 法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

パラアート推進事業に関する行政サービスコストについて、前年度の委託料と同額で「パラアート推進事業」を実施しました。

| 本市による評価 | 費用対効果<br>(「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度等を踏まえ評価) | 区分  | 区分選択の理由   |
|---------|---|-----|---|
|         |   | (1) | 行政サービスコストは目標値の範囲内であり、文化芸術に係る中間支援を通じた文化芸術の振興に寄与することができたため。 |

## 改善 (Action)

| 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性 | 方向性区分   | 方向性の具体的内容 |
|----------------------------------|---|-----------|
|                                  | I. 現状のまま取組を継続<br>II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続<br>III. 状況の変化により取組を中止 | I         |

### 3. 経営健全化に向けた取組①(平成30(2018)年度)

|                   |  |
|-------------------|--|
| 項目名               | 自主財源の確保  |
| <b>計 画 (Plan)</b> |  |
| 指標                | 自己収入額  |
| 現状                | 経常収益から市の補助金・負担金を除いた財団の自己収入はおおよそ1,600,000千円前後で推移していますが、財団の経営基盤を強化して、新たな事業展開や優秀な人材の確保等の課題に対応するためには、自己収入を増やしていく必要があります。 |
| 行動計画              | 施設利用の促進による施設利用料収入の増加、寄付金・協賛金等の確保、国等の補助金制度の活用により、段階的な自己収入の増加を図っていきます。   |
| 具体的な取組内容          | 施設利用の促進による施設利用料収入の増加、寄付金・協賛金等の確保により、自己収入の増加を図ります。次年度に向けて、国等の補助金の活用の検討を進めます。  |

### 実施結果 (Do)

|               |  |
|---------------|--|
| 経営健全化に向けた活動実績 | <p><b>【指標1関連】</b><br/> 財団ホームページをイベントごとに随時更新を行い、イベントや公演ごとにチケットの売れ行きに合わせた効果的な時期に新聞等にスポット広告を掲載するなど、事業収益の向上を図りました。また、文化芸術振興費補助金(文化庁)、芸術文化振興基金助成金(日本芸術文化振興会)等の補助金、ミュゼ川崎シンフォニーホールのホールスポンサー協賛金など、自己収入の確保に努めました。</p> |
|---------------|--|

### 評価 (Check)

| 経営健全化に関する指標  |  | 目標・実績 | H29年度<br>(現状値)  | H30年度     | R1年度      | R2年度      | R3年度      | 単位 |
|--|--|-------|---|-----------|-----------|-----------|-----------|----|
| 1  | 自己収入額  | 目標値   |   | 1,660,440 | 1,664,440 | 1,668,440 | 1,672,440 | 千円 |
|  | 説明<br>経常収益から、市補助金・負担金を除いた額<br>※個別設定値:1,650,343(過去の平均値) | 実績値   | 1,656,440   | 1,641,174 |           |           |           |    |
| 指標1に対する達成度   |  | C     | a. 実績値が目標値以上<br>b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満<br>c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満<br>d. 実績値が目標値の60%未満<br>※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載 |           |           |           |           |    |
| <b>法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)</b>   |  |       |   |           |           |           |           |    |
| 指標1について、効果的な広報や魅力的な企画を実施する等により事業収益の増加を図るとともに、国等の補助金や協賛金を獲得に努めましたが、ミュゼ川崎シンフォニーホールの工事に伴う休館の影響等により、自己収入額は前年度より減少しました。 |  |       |   |           |           |           |           |    |

|  |             |  |   |
|--|-------------|--|---|
|  | <b>達成状況</b> | 区分   | 区分選択の理由   |
|  |             | A. 目標を達成した<br>B. ほぼ目標を達成した<br>C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった<br>D. 現状を下回るものが多くあった<br>E. 現状を大幅に下回った | C<br>成果指標である「自己収入額」は1,641,174千円となり、目標値の1,660,440千円を達成することができませんでしたが、休館中のミュゼ川崎シンフォニーホールの代替公演をカルッツかわさきで開催する等により、前年度と同水準の自己収入を確保することができ、経営健全化に向けた一定の効果を創出することができたため。 |

### 改善 (Action)

|   |   |   |
|---|---|---|
| <b>実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性</b> | 方向性区分   | 方向性の具体的内容   |
|   | I. 現状のまま取組を継続<br>II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続<br>III. 状況の変化により取組を中止 | II<br>目標が未達成であったため、施設利用の促進による施設利用料収入の増収、寄付金・協賛金や国等の補助金制度の積極的活用するなど、取組の改善を行いながら、本取組を継続します。 |

|          |                |     |               |
|----------|----------------|-----|---------------|
| 法人名(団体名) | 公益財団法人 川崎市文化財団 | 所管課 | 市民文化局 市民文化振興室 |
|----------|----------------|-----|---------------|

| 経営健全化に向けた取組②(平成30(2018)年度) |  |
|----------------------------|--|
| 項目名                        | 自律的な事業運営   |
| <b>計 画 (Plan)</b>          |  |
| 指標                         | 事業費に対する自主財源率   |
| 現状                         | 事業費に対する事業収益(指定管理料を含む)・協賛金等の自主財源の割合は概ね80%前後で推移していますが、新たな収入の確保や支出削減の取組を進めて、川崎市の財政支援依存度を低減し、自律的な事業運営を行う必要があります。 |
| 行動計画                       | 有料事業の実施、協賛金の確保等により事業収入の増加を図るとともに、既存事業の見直しや予算執行の効率化等により支出を削減することで、事業費に対する自主財源率の段階的な向上を図っていきます。                |
| 具体的な取組内容                   | 有料事業の実施、協賛金の確保等により事業収入を増加を図るとともに、既存事業の見直しや予算執行の効率化等により支出を削減することで、事業費に対する自主財源率の向上を図ります。                       |

| 実施結果 (Do)     |   |
|---------------|---|
| 経営健全化に向けた活動実績 | <p><b>【指標1関連】</b></p> <p>財団ホームページをイベントごとに随時更新を行い、イベントや公演ごとにチケットの売れ行きに合わせた効果的な時期に新聞等にスポット広告を掲載するなど、事業収益の向上を図りました。また、ミュージア川崎シンフォニーホールへのホールスポンサー協賛金など、自己収入の確保に努めました。新百合トウェンティワンホールの自主事業では、公演回数を見直し、収支改善を図りました。</p> |

| 評 価 (Check)  |  |       |            |       |      |      |      |    |                |     |      |      |      |      |   |                         |     |    |      |  |  |
|--|--|-------|------------|-------|------|------|------|----|----------------|-----|------|------|------|------|---|-------------------------|-----|----|------|--|--|
| 経営健全化に関する指標  | <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標・実績</th> <th>H29年度(現状値)</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 事業費に対する自主財源率</td> <td>目標値</td> <td>84.8</td> <td>85.1</td> <td>85.4</td> <td>85.7</td> <td rowspan="2">%</td> </tr> <tr> <td>説明 事業費に対する事業収益・協賛金収入の割合</td> <td>実績値</td> <td>83</td> <td>83.7</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 目標・実績 | H29年度(現状値) | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 単位 | 1 事業費に対する自主財源率 | 目標値 | 84.8 | 85.1 | 85.4 | 85.7 | % | 説明 事業費に対する事業収益・協賛金収入の割合 | 実績値 | 83 | 83.7 |  |  |
| 目標・実績  | H29年度(現状値)   | H30年度 | R1年度       | R2年度  | R3年度 | 単位   |      |    |                |     |      |      |      |      |   |                         |     |    |      |  |  |
| 1 事業費に対する自主財源率   | 目標値  | 84.8  | 85.1       | 85.4  | 85.7 | %    |      |    |                |     |      |      |      |      |   |                         |     |    |      |  |  |
| 説明 事業費に対する事業収益・協賛金収入の割合  | 実績値  | 83    | 83.7       |       |      |      |      |    |                |     |      |      |      |      |   |                         |     |    |      |  |  |
| 指標1に対する達成度   | <p><b>b</b></p> <p>a. 実績値が目標値以上<br/> b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満<br/> c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満<br/> d. 実績値が目標値の60%未満</p> <p>※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載</p>   |       |            |       |      |      |      |    |                |     |      |      |      |      |   |                         |     |    |      |  |  |
| 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)  |  |       |            |       |      |      |      |    |                |     |      |      |      |      |   |                         |     |    |      |  |  |
| <p>指標1について、ミュージア川崎シンフォニーホールへの工事に伴う休館の影響等により事業収益全体は減収となりましたが、物販収入や協賛金が増加し、また、委託費等の支出を削減することで事業費の削減を行い、自主財源率は前年度を上回りました。</p> |  |       |            |       |      |      |      |    |                |     |      |      |      |      |   |                         |     |    |      |  |  |

| 本市による評価 | 達成状況 | 区分   | 区分選択の理由  |
|---------|------|--|----------|
|         |      | A. 目標を達成した<br>B. ほぼ目標を達成した<br>C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった<br>D. 現状を下回るものが多くあった<br>E. 現状を大幅に下回った | <b>C</b> |

| 改 善 (Action)  |  |       |           |   |  |
|---|--|-------|-----------|---|--|
| 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性                                  | <table border="1"> <thead> <tr> <th>方向性区分</th> <th>方向性の具体的内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I. 現状のまま取組を継続<br/>II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続<br/>III. 状況の変化により取組を中止</td> <td><b>II</b> 事業収益の減等により目標は未達成でありましたが、今後も、有料事業の推進、寄付金・協賛金等の積極的活用、支出の効率化など、取組の改善を行いながら、本取組を継続します。</td> </tr> </tbody> </table> | 方向性区分 | 方向性の具体的内容 | I. 現状のまま取組を継続<br>II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続<br>III. 状況の変化により取組を中止 | <b>II</b> 事業収益の減等により目標は未達成でありましたが、今後も、有料事業の推進、寄付金・協賛金等の積極的活用、支出の効率化など、取組の改善を行いながら、本取組を継続します。 |
| 方向性区分   | 方向性の具体的内容  |       |           |   |  |
| I. 現状のまま取組を継続<br>II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続<br>III. 状況の変化により取組を中止 | <b>II</b> 事業収益の減等により目標は未達成でありましたが、今後も、有料事業の推進、寄付金・協賛金等の積極的活用、支出の効率化など、取組の改善を行いながら、本取組を継続します。   |       |           |   |  |

|          |                |     |               |
|----------|----------------|-----|---------------|
| 法人名(団体名) | 公益財団法人 川崎市文化財団 | 所管課 | 市民文化局 市民文化振興室 |
|----------|----------------|-----|---------------|

| 経営健全化に向けた取組③(平成30(2018)年度) |   |
|----------------------------|---|
| 項目名                        | 収益事業の推進   |
| 計 画 (Plan)                 |   |
| 指標                         | 収益事業の経常収益   |
| 現状                         | 財団において、利益を上げるための収益事業として、施設管理収益事業、物品販売収益事業を位置付けています。運営施設の施設使用料収入を主とし、概ね310,000千円前後で推移していますが、収支相償が求められる公益目的事業と異なり、収益事業は財団の経営基盤の強化に直接的につながることから、事業の強化に取り組む必要があります。 |
| 行動計画                       | 新百合トウェンティワンホール等の施設利用及び物品販売の促進に取り組み、段階的な経常収益の増加を図っていきます。   |
| 具体的な取組内容                   | 施設の効果的な広報を行う等により、新百合トウェンティワンホール等の施設利用の促進に取り組み、施設利用収入の増収を図ります。また、ミュージアム川崎シンフォニーホールのオリジナルグッズの作成等の多角的な物販販売事業に取り組み、物販収入の増収を図ります。                                    |

| 実施結果 (Do)     |   |
|---------------|---|
| 経営健全化に向けた活動実績 | <p><b>【指標1関連】</b></p> <p>施設管理収益事業については、新百合トウェンティワンホール、ラゾーナ川崎プラザソルは、近隣の企業等に向けての広報を強化したことにより稼働率が向上し、施設使用料の収益が増加しました。</p> <p>物販販売収益事業については、ミュージアム川崎シンフォニーホールのオリジナルグッズの作成等の多角的な物販販売事業を展開しました。</p> |

| 評 価 (Check)   |       |   |         |         |         |         |    |
|---|-------|---|---------|---------|---------|---------|----|
| 経営健全化に関する指標   | 目標・実績 | H29年度<br>(現状値)  | H30年度   | R1年度    | R2年度    | R3年度    | 単位 |
| 1 収益事業の経常収益   | 目標値   |   | 321,000 | 322,500 | 324,000 | 325,500 | 千円 |
| 説明 収益事業(施設管理収益事業、物品販売収益事業)の経常収益額  | 実績値   | 310,661   | 294,202 |         |         |         |    |
| 指標1<br>に対する達成度  | C     | a. 実績値が目標値以上<br>b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満<br>c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満<br>d. 実績値が目標値の60%未満<br>※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載 |         |         |         |         |    |
| 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)   |       |   |         |         |         |         |    |
| 収益事業の経常収益については、物販販売収益は2,529千円増加しましたが、施設管理収益は入場料収入の減収等により、収益が18,989千円減少し、前年度より約16,459千円減少しました。 |       |   |         |         |         |         |    |

| 本市による評価 | 達成状況   | 区分 |   | 区分選択の理由  |
|---------|--|----|---|--|
|         |  | A  | B |  |
|         | A. 目標を達成した<br>B. ほぼ目標を達成した<br>C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった<br>D. 現状を下回るものが多くあった<br>E. 現状を大幅に下回った | C  |   | 成果指標である「収益事業の経常収益」は294,202千円であり、目標値の321,000千円を達成することができませんでしたが、物販収益が増加するなど、取組に一定の成果があったため。 |

| 改 善 (Action)  |   |
|---|---|
| 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性                                  | 方向性の具体的内容   |
| I. 現状のまま取組を継続<br>II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続<br>III. 状況の変化により取組を中止 | II 目標が未達成であったため、施設利用の促進による施設利用料収入の増加、物販事業のさらなる多角的な展開など、取組の改善を行いながら、本取組を継続します。 |

### 4. 業務・組織に関する取組①(平成30(2018)年度)

|                   |   |
|-------------------|---|
| 項目名               | 職員の専門性の向上   |
| <b>計 画 (Plan)</b> |   |
| 指標                | 研修への参加回数  |
| 現状                | 文化芸術の専門組織として、職員のスキルアップを図り専門性を向上させることは大きな課題であり、財団では、施設や職域ごとに文化芸術等に関する職員研修を実施しています。   |
| 行動計画              | 現在施設ごとに実施している研修を合同で実施したり、国等が主催する外部の研修に職員を積極的に派遣させるなどし、職員のスキルアップを図ります。   |
| 具体的な取組内容          | 職員研修等を通じて職員のコンプライアンスに関する意識の徹底を図るとともに、外部監査を実施する等のコンプライアンスの組織体制を整備し、法令違反行為等の発生を予防を図ります。また、法令違反行為等が明らかになった場合には、速やかに是正措置および再発防止措置を講じます。 |

### 実施結果 (Do)

|               |   |
|---------------|---|
| 業務・組織に関する活動実績 | <p><b>【指標1関連】</b><br/>職域等に応じた専門的・技術的な研修を財団が開催するとともに、併せて全国公立文化施設協会主催の研修や大学への研修生派遣など、外部の研修に積極的に職員を派遣したり、他都市の施設への視察も行うなど、職員の資質向上、スキルアップを図りました。施設で行われた専門研修に本部職員も参加するなど、職員間の連携や情報共有を促進し、財団全体として総合的な人材育成の取組を推進しました。</p> <p><b>【その他】</b></p> |
|---------------|---|

### 評価 (Check)

| 業務・組織に関する指標   |                            | 目標・実績 | H29年度<br>(現状値)  | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 単位 |
|---|----------------------------|-------|---|-------|------|------|------|----|
| 1   | 研修への参加回数                   | 目標値   | 15  | 17    | 19   | 21   | 23   | 回  |
|   | 説明 専門性向上等のための研修への財団職員の参加回数 | 実績値   |   | 20    |      |      |      |    |
| 指標1に対する達成度  |                            | a     | a. 実績値が目標値以上<br>b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満<br>c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満<br>d. 実績値が目標値の60%未満<br>※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載 |       |      |      |      |    |
| 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)   |                            |       |   |       |      |      |      |    |
| <p><b>【指標1関連】</b><br/>業務に必要な幅広い内容の研修を実施して、職員の資質向上を図り、職員としての専門性を向上させることができました。</p> |                            |       |   |       |      |      |      |    |

|  |             |  |  |
|--|-------------|--|--|
|  | <b>達成状況</b> | 区分   | 区分選択の理由  |
|  |             | A. 目標を達成した<br>B. ほぼ目標を達成した<br>C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった<br>D. 現状を下回るものが多くあった<br>E. 現状を大幅に下回った | <b>A</b><br>成果指標である「研修への参加回数」は20回であり、目標値の17件を上回る事ができ、職員の専門性を向上させることができたため。 |

### 改善 (Action)

| 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性 | 方向性区分   | 方向性の具体的内容 |
|----------------------------------|---|-----------|
|                                  | I. 現状のまま取組を継続<br>II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続<br>III. 状況の変化により取組を中止 | I         |

|          |                |     |               |
|----------|----------------|-----|---------------|
| 法人名(団体名) | 公益財団法人 川崎市文化財団 | 所管課 | 市民文化局 市民文化振興室 |
|----------|----------------|-----|---------------|

### 業務・組織に関する取組②(平成30(2018)年度)

|                   |   |
|-------------------|---|
| 項目名               | コンプライアンス(法令等の遵守)の徹底   |
| <b>計 画 (Plan)</b> |   |
| 指標                | コンプライアンスに反する事案の発生件数   |
| 現状                | 財団は、職員のコンプライアンス(法令等の遵守)の意識の徹底を図っており、法令違反行為等のコンプライアンスに反する事案は発生していません。  |
| 行動計画              | 職員研修等を通じて職員のコンプライアンスに関する意識の徹底を図るとともに、外部監査を実施する等のコンプライアンスの組織体制を整備し、法令違反行為等の発生の予防を図ります。また、法令違反行為等が明らかになった場合には、速やかに是正措置および再発防止措置を講じます。 |
| 具体的な取組内容          | 職員研修等を通じて職員のコンプライアンスに関する意識の徹底を図るとともに、外部監査を実施する等のコンプライアンスの組織体制を整備し、法令違反行為等の発生の予防を図ります。また、法令違反行為等が明らかになった場合には、速やかに是正措置および再発防止措置を講じます。 |

### 実施結果 (Do)

|               |   |
|---------------|---|
| 業務・組織に関する活動実績 | 【指標1関連】   |
|               | 職員のコンプライアンス(法令等の遵守)の意識の徹底を図り、法令違反行為等のコンプライアンスに反する事案はありませんでした。 |

### 評 価 (Check)

| 業務・組織に関する指標  |                        | 目標・実績 | H29年度<br>(現状値)  | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 単位 |
|--|------------------------|-------|---|-------|------|------|------|----|
| 1  | コンプライアンスに反する事案の発生件数    | 目標値   | 0   | 0     | 0    | 0    | 0    | 件  |
|  | 説明 財団職員による法令違反行為等の発生件数 | 実績値   |   |       |      |      |      |    |
| 指標1に対する達成度   |                        | a     | a. 実績値が目標値以上<br>b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満<br>c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満<br>d. 実績値が目標値の60%未満<br>※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載 |       |      |      |      |    |
| 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)  |                        |       |   |       |      |      |      |    |
| 職員研修等を通じて職員のコンプライアンス(法令等の遵守)の意識の徹底を図った結果、法令違反行為等のコンプライアンスに反する事案はなく、目標値を達成しました。 |                        |       |   |       |      |      |      |    |

|         |      |  |  |
|---------|------|--|--|
| 本市による評価 | 達成状況 | 区分   | 区分選択の理由                                    |
|         |      | A. 目標を達成した<br>B. ほぼ目標を達成した<br>C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった<br>D. 現状を下回るものが多くあった<br>E. 現状を大幅に下回った | A<br>法令違反行為等のコンプライアンスに反する事案はなく、目標値を達成したため。 |

### 改 善 (Action)

|                                  |   |                                  |
|----------------------------------|---|----------------------------------|
| 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性 | 方向性区分   | 方向性の具体的内容                        |
|                                  | I. 現状のまま取組を継続<br>II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続<br>III. 状況の変化により取組を中止 | I<br>指標の目標を達成しており、現状のまま取組を継続します。 |



**●法人情報**

**(1)財務状況**

| 収支及び財産の状況(単位:千円)                        |              | 平成30(2018)年度 | 令和1(2019)年度 | 令和2(2020)年度 | 令和3(2021)年度 |
|---|--------------|--------------|-------------|-------------|-------------|
| <b>正味財産増減計算書</b>                        | (一般正味財産増減の部) |              |             |             |             |
|   | 経常収益         | 1,989,252    |             |             |             |
|   | 経常費用         | 1,942,613    |             |             |             |
|   | 当期経常増減額      | 46,639       |             |             |             |
|   | 当期一般正味財産増減額  | 44,734       |             |             |             |
|   | (指定正味財産増減の部) |              |             |             |             |
| 当期指定正味財産増減額                             | 20           |              |             |             |             |
| 正味財産期末残高                                | 470,955      |              |             |             |             |
| <b>貸借対照表</b>                            | 総資産          | 647,411      |             |             |             |
|   | 流動資産         | 313,569      |             |             |             |
|   | 固定資産         | 333,842      |             |             |             |
|   | 総負債          | 176,457      |             |             |             |
|   | 流動負債         | 176,457      |             |             |             |
|   | 固定負債         |              |             |             |             |
|   | 正味財産         | 470,955      |             |             |             |
|   | 一般正味財産       | 439,176      |             |             |             |
| 指定正味財産                                  | 31,779       |              |             |             |             |
| <b>エラーチェック</b>                          |              | OK           | OK          | OK          | OK          |
| 本市の財政支出等(単位:千円)                         |              | 平成30(2018)年度 | 令和1(2019)年度 | 令和2(2020)年度 | 令和3(2021)年度 |
| 補助金                                     |              | 331,832      |             |             |             |
| 委託料                                     |              | 7,314        |             |             |             |
| 指定管理料                                   |              | 695,395      |             |             |             |
| 貸付金(年度末残高)                              |              |              |             |             |             |
| 損失補償・債務保証付債務(年度末残高)                     |              |              |             |             |             |
| 出捐金(年度末状況)                              |              | 30,000       |             |             |             |
| (市出捐率)                                  |              | 100.0%       |             |             |             |
| 財務に関する指標                                |              | 平成30(2018)年度 | 令和1(2019)年度 | 令和2(2020)年度 | 令和3(2021)年度 |
| 流動比率(流動資産/流動負債)                         |              | 177.7%       |             |             |             |
| 正味財産比率(正味財産/総資産)                        |              | 72.7%        |             |             |             |
| 正味財産利益率(当期正味財産増減額/正味財産)                 |              | 9.5%         |             |             |             |
| 総資産回転率(経常収益/総資産)                        |              | 307.3%       |             |             |             |
| 収益に占める市の財政支出割合<br>(補助金+委託料+指定管理料)/経常収益) |              | 52.0%        |             |             |             |

| 法人コメント  |   | 本市コメント   |
|---|---|--|
| 現状認識  | 今後の取組の方向性   | 本市が今後法人に期待することなど   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●「流動比率」、「総資産回転率」とも100%を超えており、経営の安定性は一定程度確保できています。</li> <li>●「正味財産比率」は70%台で推移しており、比率を高めることが経営の安定性につながっています。</li> <li>●「収益に占める市の財政支出割合」は50%台で推移しており、川崎市補助金を一定額確保するとともに、自己収入の増収を図り、経営基盤の安定化を図る必要があります。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●より魅力的な企画の立案や稼働率向上に向けた広報等を行い、入場料収入や施設利用料収入等自己収入の増収を図るとともに、国の補助金制度を積極的に活用し、収益の確保を図ります。</li> <li>●事務執行の効率化等により、支出の削減に努める。</li> <li>●川崎市補助金について、財団経営の健全化、安定化に向けて、補助事業の内容を精査し、補助金のあり方について検討します。</li> </ul> | <p>文化芸術の専門組織としての機能の強化を進めながら、文化芸術事業及び施設運営の収益性を高めて自己収入の増加に努めるとともに、事業コストの削減を図ることで経営基盤を強化し、市への収入依存度が抑制されることを期待します。</p> |

**(2)役員・職員の状況(令和1年7月1日現在)**

|    | 常勤(人) |         |         | 非常勤(人) |         |         |
|----|-------|---------|---------|--------|---------|---------|
|    | 合計    | (うち市派遣) | (うち市OB) | 合計     | (うち市在職) | (うち市OB) |
| 役員 | 2     |         | 2       | 10     |         |         |
| 職員 | 43    | 1       | 9       | 1      |         | 1       |

**【備考】**

●総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解・理由

・今後の方向性

# 経営改善及び連携・活用に関する方針 (平成30(2018)年度～平成33(2021)年度)

|          |                |     |               |
|----------|----------------|-----|---------------|
| 法人名(団体名) | 公益財団法人 川崎市文化財団 | 所管課 | 市民文化局 市民文化振興室 |
|----------|----------------|-----|---------------|

## 経営改善及び連携・活用に関する方針

### 法人の施策概要

- (1) 法人の事業概要  
 ・文化芸術の創造及び発信 ・文化芸術活動の支援及び協働 ・文化施設の管理・運営 ・その他公益目的事業の推進に資する事業
- (2) 法人の設立目的  
 市民の文化芸術活動の振興を図り、もって川崎市における文化芸術の創造を促進します。
- (3) 法人のミッション  
 ・多様な文化芸術事業の実施(市民の文化芸術活動の振興、川崎市における文化芸術の創造を促進、多様なジャンルの文化芸術事業の推進)  
 ・文化芸術施設の管理運営(市民の自発的かつ創造的な文化芸術活動の場を提供、文化芸術の創造と発信、文化芸術活動の支援と協働を推進)  
 ・効率的な事業運営(財団全体の組織力を結集、経営感覚に富んだ効率的な事業運営)

### 本市施策における法人の役割

誰もが気軽に文化芸術に触れ、多くの市民が文化芸術の楽しさを感じることができるよう、文化芸術活動を振興し、市民が文化芸術活動に参加しやすい環境づくりを進める必要があります。2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催控え、多様な文化芸術事業を展開することで、文化芸術の魅力を発信し、新しい都市イメージの向上に貢献することも求められています。また、平成29年に改正された文化芸術基本法では、文化芸術団体が文化芸術活動に主体的に取り組み、その充実等に積極的な役割を果たすべき旨が規定され、さらに平成30年には障害者による文化芸術活動の推進に関する法律が制定されるなど、文化芸術活動において財団に期待される役割はより大きくなっています。そのために、市民の文化芸術活動の振興等を目的として設立された川崎市文化財団は、文化の専門的な組織としての役割を果たし、多様な文化芸術事業の実施、文化芸術施設の効果的な運営、文化芸術活動を担う地域人材の育成等を行うことで、文化施策の一翼を担うこと、芸術を活かしたまちづくりに貢献することが期待されます。

|              | 市総合計画における位置づけ | 基本政策           | 施策           |
|--------------|---------------|----------------|--------------|
| 法人の取組と関連する計画 |               | スポーツ・文化芸術を振興する | 市民の文化芸術活動の振興 |
|              | 分野別計画         | 川崎市文化芸術振興計画    |              |

### 現状と課題

- (1) 現状  
 文化芸術の振興を目的として設立された川崎市文化財団は、多様な文化芸術事業の実施、文化芸術施設の管理運営等の公益性の高い事業を展開しています。市の文化芸術施策の中核を担うための財団の機能強化の取組として、平成30年度に「音楽のまち・かわさき」推進協議会事務局と機能統合した上で、本市職員を1名派遣しましたが、本部職員数が少数なことや(16都市中最下位)、また、予算面においても、施設運営等にかかる固定経費(建物の賃借料、人件費等)が大きな割合を占めることなどから、財団補助金の全体に対するシーリングにより、事業費がシーリングの率以上に減少し、文化芸術の振興のための新たな事業展開や人材確保を行えない状況にあります。
- (2) 課題  
 ・川崎における文化芸術の振興、文化芸術を通じた都市イメージの向上に寄与するために、財団が文化芸術振興に関する専門性やノウハウを蓄積し、魅力的な文化芸術事業のさらなる展開、優秀な人材の確保・育成、中間支援機能の強化に努める必要があります。  
 ・管理運営する文化芸術施設について、稼働率や老朽化等の課題があり、施設のあり方を検討しながら、その有効活用を図っていく必要があります。  
 ・自立的な財団運営に向けて、財団の経営基盤の強化が求められています。スケールメリットの創出や効率的な施設運営等による支出削減を行うとともに、自己収入の確保も求められますが、本財団は公益財団法人であり、公益目的事業比率が50%以上である必要があることから、その限定された範囲内でしか収益事業を展開することができません。

### 取組の方向性

- (1) 経営改善項目  
 ・人材育成等の組織強化や事業運営の効率化を進めながら、新たな事業の展開(浮世絵コレクションの活用)や中間支援機能の強化(パラアート)などを実施し、文化芸術振興に係る機能強化を図ります。  
 ・管理運営する文化芸術施設について、施設の有効活用、収益の向上の見地から、稼働率の向上に向けた取組を進めます。  
 ・自己収入割合を向上させるとともに、効率的な施設運営等による支出の削減をすすめ、財団経営の健全化を進めます。
- (2) 本市における法人との連携・活用  
 ・現在本市が行っているパラアート関連事業と現在検討を進めている浮世絵の活用を文化財団が担い、新たなフィールドを拡大することにより、財団の機能強化につなげ、自主財源の拡充に努めます。これらを財団が担うための事業費用、人件費等は初動期は従来の補助金に上乗せすることになりますが、事業実施により国からの補助金やある程度の事業収入は見込まれることから、補助金増額分は将来的に縮小が予想されます。  
 ・平成30年度より本市職員(係長級)を財団に派遣していますが、財団の専門的な人材の採用等の人材確保の取組が一定程度進み機能強化に向けた環境整備が整うまでの間は、密接な連携のもと、市が財団の組織・事業を補完していくことが不可欠であることから派遣を継続します。



## 1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画

### 4年計画の目標

- 地域の文化資源を活用した多様な文化芸術事業の実施、運営施設の利用促進、文化芸術に係る中間支援の取組を推進し、文化芸術の一層の振興を推進します。
- 川崎市の文化芸術振興に寄与する専門組織として、専門人材の確保・育成を行い、財団の機能強化を推進します。
- 文化芸術施設の施設経営に関するノウハウを活かし、文化芸術施設の指定管理の継続受託を見据えながら、施設の管理運営を担っていくことで、経営基盤の安定化を図っていきます。
- 自己収入割合を向上させるとともに、効率的な施設運営等による支出の削減をすすめ、財団経営の健全化を進めます。

### 本市施策推進に向けた事業計画

| 取組No. | 事業名         | 指標                    | 現状値          | 目標値          |              |              |              |    | 単位 |
|-------|-------------|-----------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----|----|
|       |             |                       | 平成29(2017)年度 | 平成30(2018)年度 | 平成31(2019)年度 | 平成32(2020)年度 | 平成33(2021)年度 |    |    |
| ①     | 財団本部事業      | 財団所管施設の稼働率            | 61.5         | 62.5         | 63.5         | 64.5         | 65.5         | %  |    |
|       |             | 財団所管施設における財団主催事業の参加者数 | 5,469        | 5,800        | 6,100        | 6,400        | 6,700        | 人  |    |
|       |             | 事業別の行政サービスコスト         | 151,918      | 144,000      | 143,000      | 142,000      | 141,000      | 千円 |    |
| ②     | 指定管理事業      | 指定管理施設の稼働率            | 61.3         | 62.5         | 63.5         | 64.5         | 65.5         | %  |    |
|       |             | 指定管理施設における主催事業の参加者数   | 161,766      | 172,000      | 175,000      | 178,000      | 181,000      | 人  |    |
|       |             | 事業別の行政サービスコスト         | 924,855      | 924,855      | 924,855      | 924,855      | 924,855      | 千円 |    |
| ③     | 文化芸術に係る中間支援 | 文化芸術に係る相談件数           | -            | 20           | 30           | 40           | 50           | 件  |    |
|       |             | パラアート事業の支援団体数         | 8            | 9            | 10           | 12           | 14           | 団体 |    |
|       |             | 事業別の行政サービスコスト         | 7,314        | 7,314        | 7,314        | 7,000        | 6,000        | 千円 |    |

### 経営健全化に向けた事業計画

| 取組No. | 項目名      | 指標           | 現状値          | 目標値          |              |              |              |    | 単位 |
|-------|----------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----|----|
|       |          |              | 平成29(2017)年度 | 平成30(2018)年度 | 平成31(2019)年度 | 平成32(2020)年度 | 平成33(2021)年度 |    |    |
| ①     | 自主財源の確保  | 自己収入額        | 1,656,440    | 1,660,440    | 1,664,440    | 1,668,440    | 1,672,440    | 千円 |    |
| ②     | 自律的な事業運営 | 事業費に対する自主財源率 | 83.0         | 84.8         | 85.1         | 85.4         | 85.7         | %  |    |
| ③     | 収益事業の推進  | 収益事業の経常収益    | 310,661      | 321,000      | 322,500      | 324,000      | 325,500      | 千円 |    |

### 業務・組織に関わる計画

| 取組No. | 項目名                 | 指標                  | 現状値          | 目標値          |              |              |              |   | 単位 |
|-------|---------------------|---------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---|----|
|       |                     |                     | 平成29(2017)年度 | 平成30(2018)年度 | 平成31(2019)年度 | 平成32(2020)年度 | 平成33(2021)年度 |   |    |
| ①     | 職員の専門性の向上           | 研修への参加回数            | 15           | 17           | 19           | 21           | 23           | 回 |    |
| ②     | コンプライアンス(法令等の遵守)の徹底 | コンプライアンスに反する事案の発生件数 | 0            | 0            | 0            | 0            | 0            | 回 |    |

## 2. 本市施策推進に向けた事業計画①

| <b>事業名</b>  |   | 財団本部事業  |         |         |         |         |       |   |
|-------------|---|---|---------|---------|---------|---------|-------|---|
| <b>指標</b>   |   | ①財団所管施設の稼働率、②施設における財団主催事業の参加者数  |         |         |         |         |       |   |
| <b>現状</b>   |   | 財団は、川崎市能楽堂等の文化芸術施設を運営し、文化芸術振興に係る多様な主催事業を実施しています。公益事業として収支の均衡をとることが難しい状況にもありますが、これらの事業は市民が文化芸術に触れるきっかけとなるものであり、その機会をさらに増やしていく必要があります。        |         |         |         |         |       |   |
| <b>行動計画</b> |   | 様々な媒体を活用した各施設の広報を展開するとともに、魅力的な企画の実施、施設相互の連携や施設の利便性の向上を図り、段階的な施設稼働率の向上を図ります。併せて、地域の文化資源を活用した多様な文化芸術事業を実施し、事業に関する市民ニーズや効果を検証しながら参加者数の増加を図ります。 |         |         |         |         |       |   |
| スケジュール      |   | 現状値   | 目標値     |         |         |         | 単位    |   |
|             |   | H29年度   | H30年度   | H31年度   | H32年度   | H33年度   |       |   |
| 指標          | 1   | 財団所管施設の稼働率  | 61.5    | 62.5    | 63.5    | 64.5    | 65.5  | % |
|             | 説明  | 川崎市能楽堂、ラゾーナ川崎プラザソル、新百合ウェンティワンホール(多目的ホール等)、アートガーデンかわさきの区分利用率の平均値。  |         |         |         |         |       |   |
|             | 2   | 財団所管施設における財団主催事業の参加者数   | 5,469   | 5,800   | 6,100   | 6,400   | 6,700 | 人 |
| 説明          | 川崎市能楽堂、ラゾーナ川崎プラザソル、新百合ウェンティワンホール、アートガーデンかわさきにおける主催事業の参加者数 |   |         |         |         |         |       |   |
| 3           | 事業別の行政サービスコスト   | 151,918   | 144,000 | 143,000 | 142,000 | 141,000 | 千円    |   |
| 説明          | 直接事業費ー直接自己収入  |   |         |         |         |         |       |   |

## 本市施策推進に向けた事業計画②

| <b>事業名</b>  |  | 指定管理事業   |         |         |         |         |         |   |
|-------------|--|--|---------|---------|---------|---------|---------|---|
| <b>指標</b>   |  | ①指定管理施設の稼働率、②指定管理施設における主催事業の参加者数   |         |         |         |         |         |   |
| <b>現状</b>   |  | 市民の自発的かつ創造的な文化芸術活動の場として、指定管理施設(ミュゼ川崎シンフォニーホール等)の運営を行っています。稼働率等は概ね安定していますが、市民の文化芸術活動の振興のため、さらなる稼働率の向上、主催事業参加者の増加を図る必要があります。                     |         |         |         |         |         |   |
| <b>行動計画</b> |  | 指定管理の継続受託を見据えながら、様々な媒体を活用した各施設の広報を展開するとともに、魅力的な企画の実施、施設相互の連携や施設の利便性の向上を図り、段階的な施設稼働率の向上を図ります。併せて、多様な主催事業を実施し、事業に関する市民ニーズや効果を検証しながら参加者数の増加を図ります。 |         |         |         |         |         |   |
| スケジュール      |  | 現状値  | 目標値     |         |         |         | 単位      |   |
|             |  | H29年度  | H30年度   | H31年度   | H32年度   | H33年度   |         |   |
| 指標          | 1                                      | 指定管理施設の稼働率   | 61.3    | 62.5    | 63.5    | 64.5    | 65.5    | % |
|             | 説明                                     | ミュゼ川崎シンフォニーホール(音楽ホール等)、川崎市アートセンター(小劇場、映像館)、東海道かわさき宿交流館(集会室等)の区分利用率の平均値   |         |         |         |         |         |   |
|             | 2                                      | 指定管理施設における主催事業の参加者数  | 161,766 | 172,000 | 175,000 | 178,000 | 181,000 | 人 |
| 説明          | ミュゼ川崎シンフォニーホール、川崎市アートセンターにおける主催事業の参加者数 |  |         |         |         |         |         |   |
| 3           | 事業別の行政サービスコスト                          | 924,855  | 924,855 | 924,855 | 924,855 | 924,855 | 千円      |   |
| 説明          | 指定管理受託料                                |  |         |         |         |         |         |   |

### 本市施策推進に向けた事業計画③

|               |   |   |       |       |       |       |       |    |
|---------------|---|---|-------|-------|-------|-------|-------|----|
| <b>事業名</b>    |   | 文化芸術に係る中間支援   |       |       |       |       |       |    |
| <b>指標</b>     |   | ①文化芸術に関する相談件数、②パラアート事業の支援団体数  |       |       |       |       |       |    |
| <b>現状</b>     |   | 財団が市とともに文化施策の一翼を担っていくためには、相談支援、地域のネットワークの構築、ボランティア等の人材育成など、文化芸術に係る中間支援を行っていくことが求められています。<br>平成29年度より「パラアート推進モデル事業」を市から受託し、障害の有無に関わらず文化芸術に親しめるパラアートの中間支援の取組を始めましたが、その他の中間支援の取組を進める必要があります。 |       |       |       |       |       |    |
| <b>行動計画</b>   |   | パラアートを含む文化芸術一般に関する相談に対応できるよう、職員のスキルアップを図るとともに、相談窓口の広報周知の取組を行います。<br>市からの補助金の活用によりパラアートの環境づくりを進めるとともに、平成31年度にパラアートの中間支援機能(プラットフォーム)を構築し、自立的な事業を展開します。                                      |       |       |       |       |       |    |
| <b>スケジュール</b> |   | 現状値   | 目標値   |       |       |       |       |    |
|               |   | H29年度   | H30年度 | H31年度 | H32年度 | H33年度 | 単位    |    |
| <b>指標</b>     | 1 | 文化芸術に係る相談件数   | -     | 20    | 30    | 40    | 50    | 件  |
|               |   | 説明 財団において対応した、文化芸術に関する相談件数  |       |       |       |       |       |    |
|               | 2 | パラアート事業の支援団体数   | 8     | 9     | 10    | 12    | 14    | 団体 |
|               |   | 説明 事業委託や連携協力等によりパラアートの事業に参画し、活動支援を行った団体数  |       |       |       |       |       |    |
|               | 3 | 事業別の行政サービスコスト   | 7,314 | 7,314 | 7,314 | 7,000 | 6,000 | 千円 |
|               |   | 説明 直接事業費ー直接自己収入   |       |       |       |       |       |    |

### 3. 経営健全化に向けた計画①

|               |   |  |           |           |           |           |           |    |
|---------------|---|--|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----|
| <b>項目名</b>    |   | 自主財源の確保  |           |           |           |           |           |    |
| <b>指標</b>     |   | 自己収入額  |           |           |           |           |           |    |
| <b>現状</b>     |   | 経常収益から市の補助金・負担金を除いた財団の自己収入はおおよそ1,600,000千円前後で推移していますが、財団の経営基盤を強化して、新たな事業展開や優秀な人材の確保等の課題に対応するためには、自己収入を増やしていく必要があります。 |           |           |           |           |           |    |
| <b>行動計画</b>   |   | 施設利用の促進による施設利用料収入の増加、寄付金・協賛金等の確保、国等の補助金制度の活用により、段階的な自己収入の増加を図っていきます。   |           |           |           |           |           |    |
| <b>スケジュール</b> |   | 現状値  | 目標値       |           |           |           |           |    |
|               |   | H29年度  | H30年度     | H31年度     | H32年度     | H33年度     | 単位        |    |
| <b>指標</b>     | 1 | 自己収入額  | 1,656,440 | 1,660,440 | 1,664,440 | 1,668,440 | 1,672,440 | 千円 |
|               |   | 説明 経常収益から、市補助金・負担金を除いた額  |           |           |           |           |           |    |

## 経営健全化に向けた計画②

|               |    |  |       |       |       |       |      |   |
|---------------|----|--|-------|-------|-------|-------|------|---|
| <b>項目名</b>    |    | 自律的な事業運営   |       |       |       |       |      |   |
| <b>指標</b>     |    | 事業費に対する自主財源率   |       |       |       |       |      |   |
| <b>現状</b>     |    | 事業費に対する事業収益(指定管理料を含む)・協賛金等の自主財源の割合は概ね80%前後で推移していますが、新たな収入の確保や支出削減の取組を進めて、川崎市の財政支援依存度を低減し、自律的な事業運営を行う必要があります。 |       |       |       |       |      |   |
| <b>行動計画</b>   |    | 有料事業の実施、協賛金の確保等により事業収入の増加を図るとともに、既存事業の見直しや予算執行の効率化等により支出を削減することで、事業費に対する自主財源率の段階的な向上を図っていきます。                |       |       |       |       |      |   |
| <b>スケジュール</b> |    | 現状値  |       | 目標値   |       |       | 単位   |   |
|               |    | H29年度  | H30年度 | H31年度 | H32年度 | H33年度 |      |   |
| <b>指標</b>     | 1  | 事業費に対する自主財源率   | 83.0  | 84.8  | 85.1  | 85.4  | 85.7 | % |
|               | 説明 | 事業費に対する事業収益・協賛金収入の割合   |       |       |       |       |      |   |

## 経営健全化に向けた計画③

|               |    |   |         |         |         |         |         |    |
|---------------|----|---|---------|---------|---------|---------|---------|----|
| <b>項目名</b>    |    | 収益事業の推進   |         |         |         |         |         |    |
| <b>指標</b>     |    | 収益事業の経常収益   |         |         |         |         |         |    |
| <b>現状</b>     |    | 財団において、利益を上げるための収益事業として、施設管理収益事業、物品販売収益事業を位置付けています。運営施設の施設使用料収入を主とし、概ね310,000千円前後で推移していますが、収支相償が求められる公益目的事業と異なり、収益事業は財団の経営基盤の強化に直接的につながることから、事業の強化に取り組む必要があります。 |         |         |         |         |         |    |
| <b>行動計画</b>   |    | 新百合トウェンティワンホール等の施設利用及び物品販売の促進に取り組み、段階的な経常収益の増加を図っていきます。   |         |         |         |         |         |    |
| <b>スケジュール</b> |    | 現状値   |         | 目標値     |         |         | 単位      |    |
|               |    | H29年度   | H30年度   | H31年度   | H32年度   | H33年度   |         |    |
| <b>指標</b>     | 1  | 収益事業の経常収益   | 310,661 | 321,000 | 322,500 | 324,000 | 325,500 | 千円 |
|               | 説明 | 収益事業(施設管理収益事業、物品販売収益事業)の経常収益額   |         |         |         |         |         |    |

#### 4. 業務・組織に関する計画①

|               |    |   |       |       |       |       |    |   |
|---------------|----|---|-------|-------|-------|-------|----|---|
| <b>項目名</b>    |    | 職員の専門性の向上   |       |       |       |       |    |   |
| <b>指標</b>     |    | 研修への参加回数  |       |       |       |       |    |   |
| <b>現状</b>     |    | 文化芸術の専門組織として、職員のスキルアップを図り専門性を向上させることは大きな課題であり、財団では、施設や職域ごとに文化芸術等に関する職員研修を実施しています。 |       |       |       |       |    |   |
| <b>行動計画</b>   |    | 現在施設ごとに実施している研修を合同で実施したり、国等が主催する外部の研修に職員を積極的に派遣させるなどし、職員のスキルアップを図ります。             |       |       |       |       |    |   |
| <b>スケジュール</b> |    | 現状値   |       | 目標値   |       |       | 単位 |   |
|               |    | H29年度   | H30年度 | H31年度 | H32年度 | H33年度 |    |   |
| <b>指標</b>     | 1  | 研修への参加回数  | 15    | 17    | 19    | 21    | 23 | 回 |
|               | 説明 | 専門性向上等のための研修への財団職員の参加回数   |       |       |       |       |    |   |

#### 業務・組織に関する計画②

|               |    |   |       |       |       |       |    |   |
|---------------|----|---|-------|-------|-------|-------|----|---|
| <b>項目名</b>    |    | コンプライアンス(法令等の遵守)の徹底   |       |       |       |       |    |   |
| <b>指標</b>     |    | コンプライアンスに反する事案の発生件数   |       |       |       |       |    |   |
| <b>現状</b>     |    | 財団は、職員のコンプライアンス(法令等の遵守)の意識の徹底を図っており、法令違反行為等のコンプライアンスに反する事案は発生していません。  |       |       |       |       |    |   |
| <b>行動計画</b>   |    | 職員研修等を通じて職員のコンプライアンスに関する意識の徹底を図るとともに、外部監査を実施する等のコンプライアンスの組織体制を整備し、法令違反行為等の発生の予防を図ります。また、法令違反行為等が明らかになった場合には、速やかに是正措置および再発防止措置を講じます。 |       |       |       |       |    |   |
| <b>スケジュール</b> |    | 現状値   |       | 目標値   |       |       | 単位 |   |
|               |    | H29年度   | H30年度 | H31年度 | H32年度 | H33年度 |    |   |
| <b>指標</b>     | 1  | コンプライアンスに反する事案の発生件数   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0  | 件 |
|               | 説明 | 財団職員による法令違反行為等の発生件数   |       |       |       |       |    |   |

**(参考)本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画に設定する指標一覧**

**本市施策推進に向けた事業計画**

| 指標             | 指標の考え方  | 現状値   | 目標値          | 目標値の考え方   |   |
|----------------|---|---|--------------|-----------|---|
|                |   | 平成29(2017)年度  | 平成33(2021)年度 |           |   |
| <b>①財団本部事業</b> |   |   |              |           |   |
| 1              | 財団所管施設の稼働率<br>算出方法<br>川崎市能楽堂、ラゾーナ川崎プラザソル、新百合トウェンティワンホール(多目的ホール等)、アートガーデンかわさきの区分利用率の平均値。<br>年間区分利用率/年間利用可能区分数        | 市内の文化芸術活動を振興し、市民が文化芸術活動に参加しやすい環境づくりを進めるため、市民の自発的かつ創造的な文化芸術活動の場として、財団は文化芸術施設(川崎能楽堂等)の運営を行っています。これらの施設の稼働率の推移を見ることで、その取組の成果を測ることができます。            | 61.5%        | 65.5%     | 平成28年から29年にかけて稼働率は増加しています(0.3%増)。様々な媒体を活用した各施設の広報を展開するとともに、魅力的な企画の実施、施設相互の連携や施設の利便性の向上を図ることで、毎年概ね1%ずつ増加させることを目標とします。(参考:H26-H29平均61.8%) |
| 2              | 財団所管施設における財団主催事業の参加者数<br>算出方法<br>川崎市能楽堂、ラゾーナ川崎プラザソル、新百合トウェンティワンホール、アートガーデンかわさきにおける主催事業参加者数の実績値                      | 市内の文化芸術活動を振興し、市民が文化芸術活動に参加しやすい環境づくりを進めるため、川崎市能楽堂等の財団所管施設において、文化芸術振興に係る多様な主催事業を実施しています。これらの施設における財団主催事業の参加者数の推移を見ることで、その取組の成果を測ることができます。         | 5,469人       | 6,700人    | 平成28年から29年にかけて参加者数は増加しています(1.3%増)。様々な媒体を活用した積極的な事業の広報を行いながら、事業に関する市民ニーズや効果を検証することで、さらに毎年概ね0.6%ずつ増加させることを目標とします。(参考:H26-H29平均5,190人)     |
| 3              | 事業別の行政サービスコスト<br>算出方法<br>直接事業費-直接自己収入   | 自己収入割合の向上、効率的な施設運営等により支出の削減をすすめる等、経営健全化に向けた取組を進めています。事業別の行政サービスコストの推移を見ることで、その取組の成果を測ることができます。  | 151,918千円    | 141,000千円 | 過去4年の最低値である平成28年度の144,747千円を起点とし、上記の稼働率向上の取組を推進し、利用料収入等を増加させることで、毎年概ね0.5%ずつ減少させることを目標とします(参考:H26-H29平均159,310千円)                        |
| <b>②指定管理事業</b> |   |   |              |           |   |
| 1              | 指定管理施設の稼働率<br>算出方法<br>ミュージア川崎シンフォニーホール(音楽ホール等)、川崎市アートセンター(小劇場、映像館)、東海道かわさき宿交流館(集会室等)の区分利用率の平均値<br>年間区分利用率/年間利用可能区分数 | 市内の文化芸術活動を振興し、市民が文化芸術活動に参加しやすい環境づくりを進めるため、市民の自発的かつ創造的な文化芸術活動の場として、ミュージア川崎シンフォニーホール等の指定管理施設の運営を行っています。これらの施設の稼働率の推移を見ることで、その取組の成果を測ることができます。     | 61.3%        | 65.5%     | 過去4年の最高値である平成28年度の61.4%を起点とし、様々な媒体を活用した各施設の広報を展開するとともに、魅力的な企画の実施、施設相互の連携や施設の利便性の向上を図ることで、概ね年間1%増加させることを目標とします。(参考:H26-H29平均60.9%)       |
| 2              | 指定管理施設における主催事業の参加者数<br>算出方法<br>ミュージア川崎シンフォニーホール、川崎市アートセンターにおける主催事業参加者数の実績値  | 市内の文化芸術活動を振興し、市民が文化芸術活動に参加しやすい環境づくりを進めるため、ミュージア川崎シンフォニーホール等の指定管理施設において、文化芸術振興に係る多様な主催事業を実施しています。これらの施設における主催事業の参加者数の推移を見ることで、その取組の成果を測ることができます。 | 161,766人     | 181,000人  | 過去4年の最高値である平成28年度の171,647人を起点とし、様々な媒体を活用した積極的な事業の広報を行いながら、事業に関する市民ニーズや効果を検証することで、概ね年間2%増加させることを目標とします。(参考:H26-H29平均158,595人)            |
| 3              | 事業別の行政サービスコスト<br>算出方法<br>指定管理料  | 自己収入割合の向上、効率的な施設運営等により支出の削減をすすめる等、経営健全化に向けた取組を進めています。事業別の行政サービスコストの推移を見ることで、その取組の成果を測ることができます。  | 924,855千円    | 924,855千円 | 指定管理料は原則変動がないため、行政サービスコストは現状値を維持することとします。(参考:H26-H29平均922,905千円)  |

③文化芸術に係る中間支援

|   |   |  |         |         |  |
|---|---|--|---------|---------|--|
| 1 | 文化芸術に係る相談件数                                       | 財団が市とともに文化施策の一翼を担っていくために、相談支援、地域のネットワークの構築など、文化芸術に係る中間支援を行っていくことが求められています。財団における相談件数の推移を見ることができ、その取組の成果を測ることができます。 | -       | 50件     | 取組をこれから始めるため実績がありませんが、パラアートを含む文化芸術一般に関する相談に対応できるよう、職員のスキルアップを図るとともに、相談窓口の広報周知の取組を進めることで、毎年10件程度ずつ増加させることを目標とします。 |
|   | 算出方法<br>財団における相談件数の実績値                            |  |         |         |  |
| 2 | パラアート事業の支援団体数                                     | 障害の有無に関わらず文化芸術に親しめる環境づくりを目指してパラアートの中間支援の取組を進めています。パラアート事業の支援団体数の推移を見ることができ、その取組の成果を測ることができます。                      | 8団体     | 14団体    | 平成29年度より「パラアート推進モデル事業」を市から受託していますが、財団による自律的な事業の展開を推進することで、毎年1~2団体程度ずつ増加させることを目標とします。                             |
|   | 算出方法<br>事業委託や連携協力等によりパラアートの事業に参画し、活動支援を行った団体数の実績値 |  |         |         |  |
| 3 | 事業別の行政サービスコスト                                     | 自己収入割合の向上、効率的な施設運営等により支出の削減をすすめる等、経営健全化に向けた取組を進めています。事業別の行政サービスコストの推移を見ることができ、その取組の成果を測ることができます。                   | 7,314千円 | 6,000千円 | 国等の補助金制度の活用等により、その減減を図り、毎年概ね100万円ずつ減少させることを目標とします。   |
|   | 算出方法<br>直接事業費-直接自己収入                              |  |         |         |  |

経営健全化に向けた事業計画

| 指標        | 指標の考え方                                | 現状値   | 目標値          | 目標値の考え方     |   |
|-----------|---------------------------------------|---|--------------|-------------|---|
|           |                                       | 平成29(2017)年度  | 平成33(2021)年度 |             |   |
| ①自主財源の確保  |                                       |   |              |             |   |
| 1         | 自己収入額                                 | 自己収入割合の向上等の経営健全化に向けた取組を進めています。自己収入額の推移を見ることができ、その取組の成果を測ることができます。   | 1,656,440千円  | 1,672,440千円 | 平成28年から29年にかけて自己収入額は増加しています(0.1%増)。施設利用の促進による施設利用料収入の増加、寄付金・協賛金等の確保、国等の補助金制度の活用により、毎年概ね0.2%ずつ増加させることを目標とします。(参考:H26-H29平均1,650,343千円)     |
|           | 算出方法<br>(経常収益)-(市補助金+負担金)             |   |              |             |   |
| ②自律的な事業運営 |                                       |   |              |             |   |
| 1         | 事業費に対する自主財源率                          | 自己収入割合を向上させるとともに、効率的な施設運営等により支出の削減をすすめる等、経営健全化に向けた取組を進めており、管理費は固定経費が多くを占めているため、事業費に対する自主財源率の推移を見ることができ、その取組の成果を測ることができます。 | 83.0%        | 85.7%       | 過去4年の最高値である平成28年の84.5%を起点とし、有料事業の実施、協賛金の確保等により事業収入の増加を図るとともに、既存事業の見直しや予算執行の効率化等により支出を削減することで、毎年概ね0.3%ずつ増加させることを目標とします。(参考:H26-H29平均81.4%) |
|           | 算出方法<br>事業収益(指定管理料含む)・協賛金収入/事業費経常費用   |   |              |             |   |
| ③収益事業の推進  |                                       |   |              |             |   |
| 1         | 収益事業の経常収益                             | 自己収入割合を向上させるとともに、効率的な施設運営等により支出の削減をすすめる等、経営健全化に向けた取組を進めており、公益目的事業は収支相償であるため、収益事業の経常収益の推移を見ることができ、その取組の成果を測ることができます。       | 310,661千円    | 325,500千円   | 過去4年の最高値である平成27年の320,671千円を起点とし、新百合トウエンティフンホール等の施設利用及び物品販売の促進などに取り組むことで、毎年概ね0.5%ずつ増加させることを目標とします。(参考:H26-H29平均313,249千円)                  |
|           | 算出方法<br>収益事業(施設管理収益事業、物品販売収益事業)の経常収益額 |   |              |             |   |



業務・組織に関わる計画

| 指標 | 指標の考え方 | 現状値          | 目標値          | 目標値の考え方 |
|----|--------|--------------|--------------|---------|
|    |        | 平成29(2017)年度 | 平成33(2021)年度 |         |

①職員の専門性の向上

|   |                                 |  |     |     |  |
|---|---------------------------------|--|-----|-----|--|
| 1 | 研修への参加回数                        | 文化芸術の専門組織として、職員のスキルアップ、専門性の向上を図っています。財団職員の研修への参加回数の実績値の推移を見ることで、その取組の成果を測ることができます。 | 15回 | 23回 | 現在施設ごとに実施している研修を合同で実施したり、国等が主催する外部の研修に職員を積極的に派遣させるなどすることで、毎年概ね2回ずつ増加させることを目標とします。(参考:H26-H29平均15回) |
|   | 算出方法<br>専門性向上等のための研修への財団職員の参加回数 |  |     |     |  |

②コンプライアンス(法令等の遵守)の徹底

|   |                                 |   |    |    |  |
|---|---------------------------------|---|----|----|--|
| 1 | コンプライアンスに反する事案の発生件数             | 財団職員のコンプライアンスに関する意識の徹底を図るとともに、外部監査を実施する等のコンプライアンスの組織体制を整備し、法令違反行為等の発生の予防を図っています。財団職員による法令違反行為等の発生件数の実績値の推移を見ることで、その取組の成果を測ることができます。 | 0件 | 0件 | 財団職員による法令違反行為等の発生はなく、今後も発生の予防を徹底し、発生0件を目標値とします。(参考:H26-H29実績 0件) |
|   | 算出方法<br>財団職員による法令違反行為等の発生件数の実績値 |   |    |    |  |



# 資金計画表

[ 平成30年度～平成33年度 ]

法人名: 川崎市文化財団

(単位: 千円)

| 項目       |            |           | 決算        | 予算        | 計画        |           |           |
|----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|          |            |           | 平成29年度    | 平成30年度    | 平成31年度    | 平成32年度    | 平成33年度    |
| 経常収支     | 収入         | 事業収入      | 1,568,833 | 1,520,590 | 1,525,590 | 1,530,590 | 1,535,590 |
|          |            | 補助金収入     | 349,369   | 389,143   | 369,498   | 364,498   | 359,498   |
|          |            | 雑収入       | 3,657     | 2,606     | 2,606     | 2,606     | 2,606     |
|          |            | その他収入     | 39,116    | 35,781    | 35,781    | 35,781    | 35,781    |
|          | 経常収入合計     |           | 1,960,975 | 1,948,120 | 1,933,475 | 1,933,475 | 1,933,475 |
|          | 支出         | 事業費       | 1,910,441 | 1,879,372 | 1,879,372 | 1,879,372 | 1,879,372 |
|          |            | 管理費       | 44,069    | 88,995    | 67,053    | 67,053    | 67,053    |
| 減価償却費(△) |            | △ 17,189  | △ 12,950  | △ 12,950  | △ 12,950  | △ 12,950  |           |
| 経常支出合計   |            | 1,937,321 | 1,955,417 | 1,933,475 | 1,933,475 | 1,933,475 |           |
| 経常収支     |            |           | 23,654    | △ 7,297   | 0         | 0         | 0         |
| 投資収支     | 固定資産取得支出   |           | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
|          | 固定資産売却収入   |           | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
|          | 投資等収支      |           | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
| 財務収支     | 借入れによる収入   |           | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
|          | 借入金償還による支出 |           | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
|          | 利息/配当金の支払  |           | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
|          | 財務収支       |           | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
| 現金預金増加高  |            |           | 23,654    | △ 7,297   | 0         | 0         | 0         |
| 期首現金預金   |            |           | 419,735   | 443,389   | 436,092   | 436,092   | 436,092   |
| 期末現金預金   |            |           | 443,389   | 436,092   | 436,092   | 436,092   | 436,092   |